

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成二年一月二五日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第20号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 2010年が飛躍の年に

上久下地域自治協議会会長

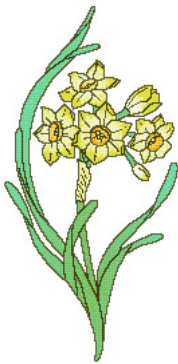
柳川瀬 義輝

1月9日から恐竜化石発掘第4次調査がはじまりました。この調査にはたくさんの方々の参加を得て作業が進められています。まだ発見されていない首や脚の部分の化石が発見されるかも？という大きな期待がもたれています。内外から見学者も増え、この時期上久下地域が大変熱く燃える時期であります。この発掘期間だけでなく一年を通じて熱く燃える地域でありたいと思います。

昨年は恐竜化石駐車場に活動拠点施設として「元氣村かみくげ」を建設しました。ほとんどが地域の皆さんのボランティアの手で建設されました。「元氣村かみくげ」では土田芳章さんに村長になっていただき、地域でとれた安全・安心の農野菜の販売、恐竜グッズの

販売、恐竜化石の発掘体験などさまざまな取り組みがすすめられています。今年になってからは、「恐竜焼き」もはじめました。女性の有志によって地元で採れた大納言小豆を粒あんにしたおいしい恐竜焼が大変人気を呼んでいます。上久下ブランドとして定着するよう頑張りたいと思います。

上久下地域には、恐竜化石だけでなく、すばらしい自然環境、風光明媚な景色、私たちの先人たちが守り育ててきた文化や歴史、それに伝統行事などが今日まで引き継がれております。それに上久下に住む人々の人情や人柄も地域資源の一つと言えるでしょう。これらの資源を活かした新しいスタイルの地域づくりを進めていきたいと思えます。地域の皆さんのご協力を今後ともお願いします。



## 新年のご挨拶

上久下自治会会長

中島 忠雄

改めまして新年おめでとうございます。昨年は自治会活動に、地区の活性化活動にご協力いただき有難うございました。恐竜の里の更なる発展、飛躍のために今年も皆様のお力添えをよろしく願いいたします。

特に今年は会長会も多数改選の予定になっており、新年度は新しいメンバーによって新しい活動が始まります。

健康でわくわくする活力ある恐竜の里を目指して共に頑張ります。よう。小さな町の世界遺産に感謝しつつ。

## 愛宕山トンネルが貫通

(太田)

県道篠山山南線・南バイパスとして愛宕山トンネル建設工事(トンネル延長74m)が行われていますが、1月12日午後1時15分に無事貫通しました。

昨年9月末から準備に入り、12月から発破を使用した昼夜連続の掘削作業が続いていました。貫通間近、兵庫県丹波土木事務所・施工業者新井組の地元への配慮によって貫通の瞬間を一目見てもらおうと見学会が実現しました。



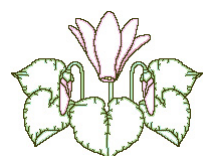
周辺住民約50人がヘルメットをかぶり、マスクをつけてトンネル内の至近距離から機械による掘削作業を見守る中、終点部岩盤が崩れ太陽の光が飛び込んできました。――貫通です。

自治会長の音頭で「愛宕山トンネル貫通バンザイ」で解散。

今後は終点側の掘削工事、トンネルの型枠の組み立て、天井部・床部の工事・そして撤去工事への続きます。

引き続き、上久下地域にお住まいの皆さまのご協力、よろしく願います。

(中西幸男自治会長)



## 4次発掘調査が始まる

恐竜化石第4次発掘調査が1月9日、多くのマスコミ関係者が見守るなか削岩機の音とともに開始しました。

登録された発掘ボランティア約30人や博物館職員、工事関係者らが集まり、丹波市からは辻市長がキャラクター「ちーたん」を伴って現場河川敷に降り立って調査への期待を述べ、ボランティアを激励しました。

丹波竜化石は3次発掘までに尻尾や胴体の多くの骨や、頭部の部分骨、歯などが見つっていますが、残り部分「首」や「脚」が見つければ全体骨が見つかったことになり、世界的に貴重なだけにその成果が注目されます。

ボランティアで参加した60代の男性は「大きな恐竜の骨ばかりでなく、カエルなどの小動物の骨も見つかれば作業していても楽しいです」と慣れた手つきでハンマーを手にしていました。



## 新春賀詞交歓会開催される

地域づくりセンター



恒例となりました新春賀詞交歓会が1月10日、辻丹波市長や山南町選出議会議員を招き、地元自治会、各企業、団体の代表らが約50人集まり地域づくりセンター多目的研修室で行われました。

柳川瀬自治協議会会長のあいさつで幕をあげ、辻丹波市長による新年のお祝いと地域を激励する言葉のあと、新春講演会や歌や踊りで花を添えました。

講演会では、下滝駅前の恐竜親子像をデザインした大阪・茨木市の村上祐喜子氏（NHKアナウンサー・村上信夫氏夫人）が「丹波が目覚めさせてくれたもの」と題して、丹波出身の信夫氏と結婚して、将来のため丹波市に家を新築され時々住まわれるようになった中で心境の変化など自身の絵本をつかって楽しく話していました。

また、まもなく出版する予定にしてい

る子ども絵本「丹波竜のおくりもの」の中の可愛い絵をスクリーンに映しながら「丹波竜と少年の交流を通じて環境や命の大切さを伝える」物語に参加者は耳を傾けていました。

祥葉会や姫百合会による新春の踊りやコーラスグループ「さくらんぼ」が自慢の歌やおどりを披露しました。中でも、コーラスグループによる丹波竜キャラクター「ちーたん」のテーマソング「大好きちーたん」の合唱には出席者全員が参加して会場をなごやかにしました。



2月の予定

◆2月13日（土）恐竜の里づくり協議会

◆2月14日（日）丹波市一斉河川清掃

## 恐竜の里カレンダーを制作

市内25校区に配布

上久下自治協議会では、丹波竜の里上久下から丹波市全域に広く情報発信するため、恐竜化石発見から3次発掘調査終了までの経緯「詩と絵で語る丹波竜物語」2010年カレンダーを作成し、丹波市長、市議会議員のほか、支所、出張所や25校区の自治協議会に一斉に配布しました。

カレンダーは1枚もので、化石発見から4年間の発掘の状況を詩と写真にまとめ、記憶と記録に残るようにしました。それぞれの学校区自治協議会事務所に掲示してもらうことによって多くの丹波市民に丹波竜情報を共有し、地域の活性化に利用していただけることを願っています。

同協議会では今年のカレンダーの反響をみて、来年も違った上久下の見どころなどを写真に収めてカレンダー製作をしたい、と話しています。

